

KSKQ オリーブ だより

2019年度 第2



〈今号の写真〉
オリーブの実が大きく育ちました。

土曜レク!!! みんなで映画館と回転ずしに行こう!の巻

～今回の土曜レクの内容～

8月24日(土)・・・ふだんはお休み
TOHOシネマズ二条にて、最新映画4作品の中から
それぞれが見たいものを鑑賞
その後の食事で、くら寿司

土曜レクは希望に上がった、映画館で映画を観る、誰かと観る、しかも18名での映画館など未知数で、「ウキウキする」がぴったり当てはまる気分です。空飛ぶ車椅子の映画以来という方も。空飛ぶ車椅子??ET以来のようでした。隣には知っている人。暗闇で知っているもの同士が、2時間近く目の前の物語を共有する不思議な時間です。

映画を観ると不思議で、観る前と後では同じ景色も違って見えるような気分になることがあります。上映後、蒸し暑い中で、甘酸っぱい香りがする回転寿司屋さんで、それぞれが観た映画の感想を話しました。笑った人、泣いた人、あれこれ考えた人、またその様子を観察していた人とじつに様々。一人映画が好きだと言っていた私は、本当は誰かとそんな時間を共有することが好きなことに気付く。オリーブでみんなしていると、知らない自分と初めましてすることしばしば。それは自分に対してだけではなくて、普段と違う誰かの一面を知ることがあり、当たり前かもしれないが、人にはたくさんの側面があることをそんな時に感じます。それを豊かという大袈裟ですが、何だか嬉しい気持ちになった一日でした。(浜)



今年、奈良県天川村ゆきでした。みたらしい溪谷や、天河大弁財天社、エコミュージアム、面不動鍾乳洞、龍泉寺、銘水ごろろ水汲み場ほか、洞川温泉街を観光しました。

一日目はカララツとした秋晴れ、二日目はしつとり小雨。とにかく空気がいい、.. 日が暮れると、クルマの音も聞こえませんが、本音が涼しくて、私など「あせも」が治ってしまいました。

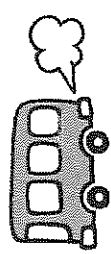
貸切バスだったので、狭い山道でも、むしろ乗り心地よく、ジュースや、差し入れのお菓子をみんなに分け合うとか、マニアックなクイズ、生ギター付(1)の歌の時間のせいかもしれません。

一番の関心事? お宿の晩ご飯。マスのお造りや合鴨の蒸し焼きで満足していたら、遅れて鮎の塩焼きが出てきて、いっぺんに盛り上がりました。米飯の大きなジャヤー2ツは空になり、追加のご飯、頂きました。

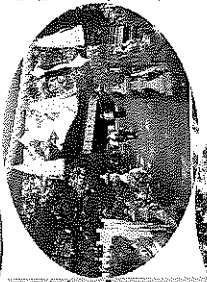
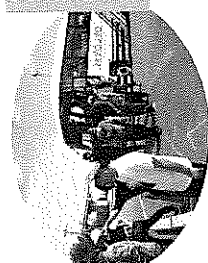
お宿は洞川温泉の、とある純日本旅館。食事が終わる頃、妙に静かになって、笑顔。大広間全体が「しつぽり」した雰囲気になりました。縁側に出ると、秋の風。虫の音が心地よかったです。

月夜の散歩に出る人、遅くまでトランプや、オセロに興じる人。いつもと違う夜を、楽しみました。お土産として葛湯などを買い人が多かったようです。思い出作りに、と組立て式の「樽の貯金箱」を、各自作ったのですが、私のはまだ空っぽです。

貸切バスで山科に戻ってくる、いつもより高い位置でいつもの道を通ります。普段は雑事で、周りがよく見えないのだと実感しました。人への感謝の気持ちをも今日のまま、持ち続けたいと思いました。(村上彦)



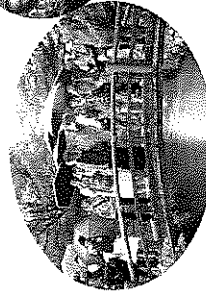
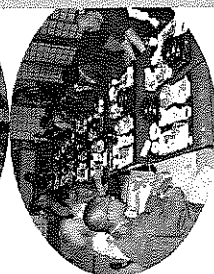
一泊



旅行を



振り返って



私は、今年旅行委員を務めさせていただきましました。旅行委員など、いろいろな決めながら、行く当日を迎えました。

1日目、2回目のお手洗い休憩のあと、旅行委員で考えたゲーム、クイズ大会を開き、みんながわいわい言いながら楽しむことができました。1日目のお昼は柿の葉寿司。ゆっくりに分かれて、私は、みたらしい溪谷班に参加しました。自然にわいわい、堪能できました。その後、神社班とみたらしい溪谷班にわいわい、水がきれい、滝も素晴らしい。私はすごく感動しました。あつという間の4kmの道のりでした。その後、洞川エコミュージアムセンターに立ち寄りしました。天川村のことがすごく分かる資料館でした。今年の旅のお宿は、光緑園西さんがでした。とても素晴らしいお宿でした。私は、温泉地に来たときは、必ず3回入るように入っています。それで、宿に着いたとき、宴会前に1回、温泉に入りました。そして宴会が始まりました。宴会の料理がおいしくて、ご飯3杯、おかわりしました。その後、夜の散歩というので、旅館街を散歩してると、なんかみんながコーヒーを欲しくなり、自分もホットコーヒーをよばれました。夜の散歩から帰ってきて、2回目の温泉に行き、フリーの部屋でトランプ遊びや、オセロの見学をさせていただきましました。とても楽しいひとときでした。

2日目、3回目の温泉に行き、朝の散歩に行き、朝食をとって、朝食もご飯2杯おかわりしました。朝の料理が始まりました。それで、宿とお別れし、2日目の旅行が始まりました。宿の近くの面不動鍾乳洞に向かい、おもしろいモノレールに乗りました。モノレールおもしろかったです。それで鍾乳洞の中に入りました。モノレールおもしろかったです。でも、おもしろかったです。モノレールから降り、自分よつとお腹がすいていたので、純喫茶の店でアイスフロートとトーストをよばれて、30分間ゆっくりにしていました。次は、ごろろ水のところで、2Lのペットボトルの水をくみ、ちよつと飲んでみたけど、ごろろろはしなかつたです。それでバスに乗り込み、バスの中で歌を4曲歌い、楽しい気分になって、ドライブイン169のところでお昼をいただいて、その後、ヒノキの貯金箱を楽しく作り、バスで山科に戻ってきました。(Y.K)

〇〇さんのお話を聞かせてください!

*今回の話し手は、Yさん。自主製品やサロンでの作業をされています。

— Yさんは、どうしてオリーブに来るようになったんですか?
 Yさん(以下Y)最初は病院のOTに通ってまして、スタッフに相談したところ、いろいろなりストを出してもらい、その中の一つにオリーブがありました。もう一軒あたったのですが、やはりオリーブが良いとのこと、寄せていただきました。オリーブに来るようになってどのくらい経ちますか?
 Y 来させていたのは5月末からです。もう4か月が過ぎましたが、今すごく楽しいです。自主製品の敬老ショールも大変だったけど、楽しく終えることができてうれしかったです。まだまだこれから覚えなれないけど、少しずつ慣れようと思います。
 — では、通所を続けている理由があれば教えてください。
 Y 理由? うーん、居心地がいいからですかね。
 — 居心地。例えばどんなふうですか?
 Y ここは、メリハリがある。仕事の時間、休憩の時間、遊びの時間が分かれているからです。比べたらあかんけど、自分の好きなときに休憩をとっていいところもありました。でもそれだと、だらけてしまうんです。ここは居心地がよすぎて、どうなるかわからん。

— なるほど、どうなってしまうんですか(笑)。理由としては、例えば、1時間ごとの休憩が決まっている方が、Yさんにとっては過ごしやすいんですね。では、オリーブに来るようになって、何か変化はありましたか?
 Y 変化?。お父さん(同じくオリーブで働いている夫さん)が夏シフトのとき朝が早かったたので、その支度のために早起きになったかなあ。送り出してから、自分のやることもできるようになったし。その後、横になることもあるんやけど。— そうなんですね。時間の余裕ができたというところでしょうか。それと、Yさんは先日の一泊旅行も楽しまれたようで、いろんな思い出を紙に書いてくださいましたね。改めて、いかがでしたか?
 Y 旅行は、山歩きがキツかったですが、いい経験をさせていただきました。あと、鐘乳洞で足をライトで照らしてくれたスタッフに感謝しています。旅行は本当に久しぶりでした。これまで、家を空けようとは思わなかったのでも帰ってきたら、家は意外と大丈夫でした。行くか迷ったけど、行けて満足です。
 — それも変化のひとつと言えるかもしれませんか。現在の通所もレクへの参加も満足されているようで何よりです。Yさん、どうもありがとうございます!

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8の日)発行

「第20回 山科こころのふれあい夏まつり」に参加しました!



8月1日(木曜日)京都市生涯学習総合センター山科(アスニー山科)にて開催された夏祭りに参加しました。販売ブースでは野菜・焼菓子等の販売。ステージではるまん音楽隊の合唱を披露しました。普段の「うたのサロン」での練習成果を発揮し、元気に楽しく歌うことができたと思います。今年には工作コーナーで作った楽器を使っでの参加型のステージを企画。最後に歌った『上を向いて歩こう』では会場が一緒になって歌い、演奏する一体感を楽しめたのではないのでしょうか? 評判も上々でした! また色んな楽しい試みにトライしていきたいです。皆様お疲れ様でした! (正)

秋の出店予定

- 10/26(土)
 - ・矯正展/京都刑務所
 - ・ND祭/ノートルダム女子大学
- 10/27(日)
 - ・矯正展/京都刑務所
 - ・洛和メディカルフェスティバル /洛和会音羽病院
- 10/29(火)
 - ・醍醐手作り市/醍醐寺
- 11/3(日)
 - ・小山文化祭/小山文化センター
 - ・こうじの世界/ゼスト御池
- 11/4(月)
 - ・やったね! 秋まつり /山科合同福祉センター
- 11/23(土)
 - ・ふれあいやましな区民まつり /山科中央公園
 - ・京の手作り市/京都岡崎蔦屋書店前

施設長のひとこと

「作業所とは」

日々仕事をする事は、イコール様々な課題や問題に直面することだと思います。その中で、たくさんの方々の支えがあることを実感し、力をもらい、明日への活力になっていきます。先日、少し悩んでいた時期があり、私が信頼する方に話を聞いてもらっていたのですが、悩んでいることに焦点化した話だけでなく、色々とお話をしてくださいました。そこで、作業所とはという話になり、「新しい方や今までと違った方を受け入れる時、この方が来たらどんな風になるかなと、他のメンバーさんにどんな影響が出るかなとわくわくして考えるのが作業所なんじゃない」と言われました。こんな影響が出るからやめておこう、不安だから避けようではなく、あのメンバーさんはこんな風に思えるのではないか、オリーブにこんな新しい風が吹くのではないか、そんな風にポジティブに捉え、実践をしていくことが作業所なんじゃないかと。もちろんこちらが意図した通りにはいかないのですが、そこでやはり冒頭にある、課題や問題に直面することになるのですが、それがあからこそ、その先に喜びや成長、糧が待っているのだと思います。

共同作業所づくり運動を回顧した文献の中に、『そしてこの運動の中では、「働くことが人間にとって大切な権利であることと同時に、もっとも人間的な営みであること」と、「労働の主人公は人間であり、それは障害をもっているという考えにもとづき、仕事に障害者を合わせるのではなく、障害のある人に合わせた仕事の展開」を常に考えてきたのである。すなわち、“作業所が障害者を選別するのではなく、利用者に合わせて作業所をつくる”という点こそ、共同作業所運動がもっとも大切にしてきたことであつた。』と書かれてありました。オリーブは、オリーブにメンバーが合わせるのではなく、メンバーにオリーブが合わせる場所であるべきです。そこに私たちスタッフの喜びが存在します。たくさんの方が来られる場所なので、その分たくさん問題が起きますが、その中でも互いに互いを理解し、認め合い、敬うことができれば、その場所は多くの方にとって必要な場所になっていくでしょう。オリーブはそうありたいと私は思っています。

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8の日)発行

編集後記

今の私にとって、本号の編集作業はオアシスでした。(へとへとE17)

熱量のある原稿をどう紙面に収めようか、楽しい編集過程でした。(S.H)

オリーブだより
2019年10月編集
発行人
関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル4階
編集人

オリーブホットハウス
社会福祉法人 オリーブの会
京都市山科区東野中井ノ上町3-33
TEL 075-591-4669
FAX 075-591-4679
ホームページ
<http://olive-net.info/>
フェイスブック
<https://www.facebook.com/olivehothouse/>

メールアドレス
olive-cw@rio.odn.ne.jp
定価 50円

いつもありがとうございます。
河村京豆腐店様、わの会の皆様、山口雅恵様、今枝文子様、オリーブ農園生産会様、新明友子様、岩村チエ子様、佐藤純様、西淵様、林紀代美様、平田様、後藤紀子様、大久保様、吉田悠紀子様、吉田みほ様、村田雄樹様、山田輝見子様、長谷川華映様
嶋津文庫店様、(株)大躍様、京都奉製(株)様、(有)永田屋様、京都ほっとはあとセンター様、認知症予防ネット様、總本山醍醐寺様、春日丘センター様、県民生活協同組合やまゆり様、関西よつ葉連絡会様、(株)よつ葉ホームデリバリー京滋様、里地会クリニック様、京都市やましな学園様、浅川亭様、協働ホーム様、びあひとまら様、山科工房様、笑人様、エルファ共同作業所様、健らいと様、なかよし会様、masuji様、京都市文官市民局市民スポーツ振興室様
溝口テレビ様、ケーアンドアイ様、京都市ごみ減量推進会議様、大宅学区社会福祉協議会様、山科区社会福祉協議会様、大宅学区民生児童委員会協議会様、高齢サポート大宅様、(株)山田製油様、京都市山科青少年活動センター様、カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)様、津乃吉様、東山区社会福祉協議会様、みんなが元氣寺浦サロン様
(有)アグロス胡麻郷様、ムスピデザイン様、しんやさい京都様、七彩の風様、KATEオフィス様、一般社団法人リリース様、KGP N様、甘利香辛食品様、きょうと農福連携センター様(令和元年7月〜10月順不同)